

(1)音楽科における昨年度の改善プランの検証

観点	検証
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる面から(歴史地理的・文学的・美術的)の楽曲のアナリーゼ(分析)を通して、旋律と詞との関係・曲想をとらえると、よりよい表現ができるようになることを実感できた。</li> <li>・楽曲の表現記号を忠実に再現し、どのような曲想かを分析し、そこからより良い表現の工夫につなげること</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の完成度を高めるように、生徒が個々に感受や表現の工夫を踏まえて目標を設定し、それに邁進したことによって表現力が培われ、個に応じた達成感を得ることができた。</li> <li>・歌唱や器楽の基本的な奏法を習得し、応用できる技能を身に付ける。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は前向きな態度で授業に取り組むことができる。</li> <li>・毎時間の目標を示すことで、目標達成に向け、意欲的に取り組むことができる。</li> </ul>

(2)音楽科の学習効果測定等における分析(内容別・観点別)

内容項目	分析
聞くこと	・学習効果測定はない。
読むこと	・学習効果測定はない。
書くこと	・学習効果測定はない。

観点	分析
知識・技能	・学習効果測定はない。
思考・判断・表現	・学習効果測定はない。
主体的に学習に取り組む態度	・学習効果測定はない。

(3)音楽科の学習効果測定等における課題

・学習効果測定はない。
-------------

#### (4)音楽科の具体的授業改善策

観点	具体的な授業改善策
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の背景にある文化や歴史、他の芸術とのかかわりを理解させ、それらを総合的に感じ取って聴かせる。</li> <li>・音楽的な要素を感じ取れるよう、鑑賞・表現のポイントを明確に示す。感想や評論文など、自分の意見を書く習慣を身に付けさせる。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の完成度を高めるように、生徒が個々に表現方法などの目標を設定し、それに向かって表現する力を培い、達成感を得られるようにする。そのためには基礎的な表現記号や音譜の読み取りをできるようにする。</li> <li>・音楽に対する自分の考えや思いを自分の言葉で表現し発言させる。</li> <li>・一人一人に応じた支援をしていく。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の目標を明確に設定し、その目標を通して達成感を感じられる、見通しをもった授業を展開していく。</li> <li>・毎時間、生徒同士での話し合いや発表の場を設ける。生徒が達成したこと、よい点や工夫した点などを具体的にほめる。</li> <li>・一つの題材に偏ることなく、歌唱、器楽、鑑賞、創作をバランスよく取り入れ、興味関心を持たせる。</li> <li>・一人一人に応じた支援をしていく。</li> </ul>

内容項目	具体的な授業改善策
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の指示を始め、耳からの情報で活動できるようにする。</li> <li>・歌唱・器楽では、上手な仲間やプロの演奏を鑑賞させる。</li> <li>・プロの演奏家の演奏を聴く機会を多く設けさせる。</li> </ul>
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料集を使って、歴史について学んでいく。</li> <li>・作曲家の思いや、工夫を、資料を使って学んでいく。</li> <li>・楽譜を読む力を高める。</li> </ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲を聴いて感じたことや分かったことをまとめていく。</li> <li>・期末の終わりには、自分の思いや、考えたことを論文で表現する。</li> </ul>

学年	具体的な授業改善策
1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や提出物の忘れ物がないように、授業時や事前の連絡を徹底させる。</li> <li>・よい姿勢、発声を身につけ、感情表現を豊かに、ハーモニーを感じながらしっかりとのびのびと歌わせていく。</li> <li>・楽しくイメージを持って器楽演奏できるよう具体的に手本を示すなど、わかりやすい指導を目指す。</li> <li>・授業に集中させる。</li> <li>・一人一人に応じた支援をしていく。</li> </ul>
2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりしっかりとした声で自信をもって、堂々と歌えたり、楽しいイメージをもって器楽演奏できるよう指導していく。</li> <li>・歌詞の内容を考え、表現につなげるなど、繊細な感情表現の部分を伸ばし、響き豊かに歌い上げられるようにする。</li> <li>・授業に集中させる。</li> <li>・一人一人に応じた支援をしていく。</li> </ul>
3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで学んだ技能を活かし、楽器の演奏や歌唱を通して、より豊かな自己表現に結びつける方法を学んでいく。</li> <li>・音楽に対する評論を書くなど、自分の意志をしっかり持ち、全ての課題に意欲をもって取り組ませるようにする。</li> <li>・授業に集中させる。</li> <li>・一人一人に応じた支援をしていく。</li> </ul>